

～手軽さと速さを体験～ スマート農業体験講習



慎重にドローンを操作



ボートのスピード感に思わず苦戦? 思ったより軽くて、思わずスマイル



生物資源系列の3年生16名は6月6日に、(株)池田と秋田スカイテック(株)の協力のもと「スマート農業体験講習会」に参加しました。同校の圃場を会場に、最新の農業機器を実体験することで、スマート農業が掲げる「労力軽減」や「無人機器による安全性の向上」などに関心を高め、次代の農業後継者育成を図ることを目的に、昨年に引き続き実施したものです。

無人ヘリコプターのデモフライトを見学した後、「薬剤散布用ボート」や「ドローン」の操縦体験に挑戦しました。講師の指示のもと、タブレットやコントローラーを手にした生徒たちは、緊張しながらも楽しそうに体験実習を行っていました。

実習後の感想では「ボートもドローンも、見た目よりも軽くもち運びに便利だと思った。」「ボートに関しては風向き等を気にせず散布できるので作業効率が良いと思う。」など好感触を示すものが多く、スマート農業について理解を深めていました。

～就職先の選択肢として～ 第1回アグリセミナー

生物資源系列の2年生11名は6月24日に、県山本地域振興局が主催する第1回アグリセミナーに参加しました。スプラウト（発芽野菜）商品を生産する株式会社ミツ農研（八峰町）や肉用牛の肥育を行う朝場畜産（能代市）など、地域に根ざした経営を展開する5経営体の施設等を見学し、仕事の内容や雇用就農について学習しました。

このうち、能代市轟地内の(農)轟ネオファームでは、高橋裕代表から経営規模や作付体型について説明を受けたあとで、最新式の大型トラクターうあ学校にはないブームスプレーヤーの試乗をさせていただきました。説明の後で、高橋代表から「雇用条件を整備して求人募集しているので、来年の就職活動の際には選択肢の一つとして考えてください」という呼びかけもありました。今後は、視察した法人等において短期・長期インターンシップを行う予定で、現場体験を踏まえて将来の進路選択に活かすこととなります。



ブームスプレーヤー両腕伸ばすと15m



エンジンをかけてもらい運転席に乗車する生徒



移植機。来年授業ではひっぱり君で定植予定